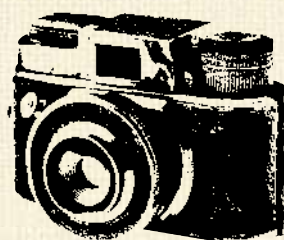


第54回私の街さかた

写真コンテスト

入賞作品

お問い合わせ／市政推進課広報広聴係 ☎26・5706



本市の出来事の紹介や
写真文化の振興などを目的にした
「私の街さかた写真コンテスト」の入賞作品が
決まりましたのでお知らせします。

応募状況

応募者数 **89**人(前年81人)
応募作品数 **145**点(前年142点)

審査員

白畑 晋氏(全酒田写真連盟顧問)
渡辺 暁雄氏(東北公益文科大学准教授)
日向 香氏(アートディレクター)



「**手作りのお雛様**」
佐々木 勝則さん(みずほ一丁目)



上の写真のシルエットと、中央の写真の人形の
表情がよい。明るい写真に黒い写真があることで
落ち着いて見ることができると。





特選 「神輿を待つ人」
太田 町子さん(錦町五丁目)

◆単写真の部は特選なし。

中央の写真がよく、単写真としても見られる。全体に共通する「2人」というコンセプトもよい。中央の写真の女性の服の色が全体を明るい雰囲気になっている。昔から受け継がれる風景、祭りの前の静けさ、ワクワクする感じが伝わってくる。

入選



「春の息吹」
阿蘇 和夫さん(若宮町二丁目)

組み方が上手く、青空が美しい。タイトルの通り春の雰囲気が伝わってくる。氷の丸みとネコヤナギの丸みが目を引く。



「神代神楽」
佐々木 吉治さん(若宮町二丁目)

中央の写真が主役、左右の写真が脇役として、役割を心得た作品。躍動感があっていい。パラソルの色が全体とマッチしている。

入賞作品の展示

土門拳記念館 ● 1月7日(水)～14日(水)

八幡タウンセンター ● 1月16日(金)～20日(火)

松山農村環境改善センター ● 1月22日(木)～26日(月)

ひらたタウンセンター ● 1月28日(水)～2月2日(月)

交流ひろば ● 2月4日(水)～9日(月)

総合文化センター ● 2月11日(祝)～15日(日)



**ふるさと
発見賞**

「ハンコタンナで稲刈体験」土田 清さん(砂越緑町)

色使いがよい。子どもたちの一生懸命さが表現されている。子どもが稲を持つことで大きく見え、収穫の喜びがいっそう際立つ。

ユモア賞

「餅つき」三澤 清明さん(駅東二丁目)

シャッターチャンスがよい。きねを振り上げている子どもの格好がよく、あえて顔を写さないことで見る側の想像力がかき立てられる。



佳作



「兄弟〜つかまえたっ!〜」

早藤 真紀子さん
(東泉町二丁目)



「嫁ぐ」山本 孝子さん(上安町三丁目)



「酒田 夏日!」茂木 玲子さん(みずほ一丁目)



「おしんレース」

佐藤 檀さん(庭田)



「黒森歌舞伎」高橋 康雄さん(遊佐町)

ドキュメント賞

「酒田駅100周年SL走る」

三浦 民雄さん(新橋二丁目)

右の写真の構図がよく、車窓から手を振る姿にワクワクする。酒田駅100周年という歴史の中に人の息遣いが聞こえるようだ。



新人賞



「酒田祭りで。トルコ人のジハーンさん」

土井 栄美里さん(光ヶ丘一丁目)



「移ろう秋の鶴間池」 工藤 大治さん(鶴岡市)



「木漏れ日」

逄 隆英さん
(青森県)

「虹色里山」

佐藤 礼子さん
(中野俣)



ジュニアの部

特選



「昭和ロマン」

菊池 尚人さん(酒田光陵高校)

夕暮れの光の感じをよく捉えており、電柱が安定感を、マンホールが明るい雰囲気を出している。大人にとっては懐かしいが、彼らの世代には新鮮に感じる風景なのかもしれない。

ジュニアの部

入選

「慈母と地藏たち」

佐藤 洵佑さん(酒田西高校)



組み写真にしたことで周りの情景を感じることができる。色の無い世界という感じで、モノクロ作品のような印象を受ける。



「燃ゆる道」

遠田 美香さん
(酒田光陵高校)

水平線で二分されているが、空間に光が斜めに入ることでもれを感じさせない。海の黒が安定感を生み出している。



斜めの構図が作品に動きを出している。10代の不安定さを表現しているように感じられる。

「孤独なオレンジ」

岩本 秋穂さん(酒田光陵高校)